

TWICE PLANとは？



トゥワイス・プランは、中学・高校の探究学習で活用いただける実践的なPBLプログラムです。社会とつながり、生徒がモチベーション高く取り組める多彩なワークで、「探究の学び」の準備と本格的な実施をサポートします。

チームで繰り返し課題解決に取り組むスタイルは、協働しながら知識・技能を生かし、思考力・判断力・表現力を身につけるトレーニングに最適です。併せて、先生方に向けた効果的な探究学習のための研修もご提供します。

TWICE PLAN

お問い合わせ

株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュート

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町1-11-804

Tel 03-6861-3553 / Fax 03-6861-3554

Mail info@twiceresearch.jp

URL <https://twiceresearch.jp>



program.twiceplan.jp

Intensive

TWICE PLAN MOVIE WORK

“ムービー”ワーク

「ムービーづくりで伝える力を磨こう」
——自分たちの「今」を映し出す“ムービー制作”体験

ムービー制作体験で、“創造”を楽しむ

自分たちが伝えたい“今”をテーマに、チームで5分間のオリジナルムービーをつくるワークです。どんな作品にするか撮影計画を立てて、チームが考える“今”を撮影し、編集します。観てくれるクラスメイトにチームのメッセージが届くように、プレゼンをして上映。それぞれが捉えた“今”を、みんなで楽しめます。

【身につく力】
コミュニケーション力、チームワーク力、論理的思考力、情報収集・活用力、情報モラル、プレゼンテーション力、自己表現力、自己肯定力

1

チームづくり、撮影準備

どんな“今”を伝えるのかを話し合い、作品づくりスタート！

4～5人のチームを結成し、リーダーを決めて、チーム名や意気込みを考えます。「好きな映像作品」や「今気になること」などについて話し、撮影の計画を立てます。



2

撮影・編集

たくさん素材を集めて、ムービー作品をつくる

準備した計画をもとに、チームで撮影に出かけます。集めた素材をもとに、タブレットやPCを使って編集。見る人に届く構成や演出を考えて、ムービーを仕上げていきます。

3

発表

チームのムービーを上映！
創り手として観る人に届ける

でき上がったムービーをチームごとにプレゼンします。3分間でムービーを紹介し、5分間で作品を上映。プレゼン後にクラスメイトからコメントを受け取ります。全員の採点で“ムービー・グランプリ”を決定します。



4

振り返り

自分の表現の中に、
自分を見つける

これまでの取り組みを振り返って、チームでディスカッションします。最後はひとりひとりレポートを書いて終了です。

ワークのめくじ

6つのステップで進行します。
(※1ステップの目安は最少45分です)

- 1 最初の準備
- 2 撮影する
- 3 編集する
- 4 発表！①
- 5 発表！②
- 6 振り返り



Point!

インテンシブワークのポイント！

インテンシブシリーズのワークブックは、取り組みをサポートする「Guide」が充実。ステップごとに要点と解説を参照できるので、短い時間でもスムーズにワークを進行することができます。また、各ステップの活動時間の目安が示されているので、見通しが立てやすく、安心して授業を運営できます。

Learning effects of this work

“ムービー”ワークに
取り組むことで、
こんな効果があります。

この取り組みで、どんなことができるようになるのか、
どんな力が身につくのか、代表的なものをご紹介します。

1

豊かな創造性が育まれる

自分自身が感じ、考えていることを土台に作品をつくり、メッセージを届けるという、本質的な「ものづくり」を短期間で体験できます。つくる人も見る人も、クラス全員が豊かで創造的な、深い学びを楽しむことができます。

2

コミュニケーション力、発想力が
磨かれる

チームで1本の映像作品を計画・制作するため、コミュニケーション力や協働力が養われます。伝えたい思いを伝える言語化力がプレゼンで鍛えられ、手と心を動かす創作活動により、クリエイティブな発想力も磨かれます。

3

自分の得意なことがわかり、自己肯定感が高まる

チームメイトと一緒に答えのない課題に向かっていくチャレンジは、これまで気づかなかった自分の特性や興味・関心に気づききっかけに。同じ課題に取り組んだ仲間たちと互いの強みを認め合い、未来につながる自信を得ていきます。

4

ICT端末を活用した課題解決力が身につく

撮影、編集をはじめ、活動のプロセスでICT端末を有効活用できる機会がたくさんあります。自らの課題を解決するためのICT活用方法を、実践的に身につけていくことができます。